

■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。  
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

## 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
  - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。  
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
  - お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
- |                         |                    |                    |                            |
|-------------------------|--------------------|--------------------|----------------------------|
| この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です | この絵表示は、「分解禁止」の内容です | この絵表示は、「接触禁止」の内容です | この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です |
|-------------------------|--------------------|--------------------|----------------------------|

**やけど、漏水をした場合の処置**

**漏 水** やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。  
そして専門の医師の診察を受けてください。

漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

<b>警告</b>	給湯温度は85°Cより高温で使用しないでください。 禁止  85°Cより高温 85°Cより高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。 禁止 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	小さいお子様だけの使用は避けください。 禁止 やけど・けがをするおそれがあります。
	配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。 禁止 通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	寒冷地仕様の場合 水抜きつまりは水抜き以外の目的で開けないでください。 禁止 水抜きつまりをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。 分解禁止 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	キャビネット内の湯側配管は高温になっていますので直接肌を触れないでください。 接触禁止 給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。	湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、手で適温かどうかを確かめてから使用してください。 適温かを確認 確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	湯をお使いになるときは、必ずレバーを水側にしてから開栓してください。その後徐々に湯側を開栓し、お好みの温度に調節してください。 開栓順序 湯側を先に開栓すると、高温の湯が吐水して、やけどをするおそれがあります。

<b>警告</b>	レバーハンドルの位置で湯温を確かめた後、吐水してください。 位置を確かめて 確かにないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	高温の湯を使ったあとは、しばらく水を流してください。 熱湯 水 次に使用する時、水栓内に残っている高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	お湯を使用した後で次に使用する時は、しばらく吐水させてからお使いください。 湯温が安定してから しばらく吐水させないと、温度変化によりやけどをするおそれがあります。
<b>注意</b>	器具に乗ったり、よりかかたりして無理な力を加えないでください。シャワーヘッド先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。 禁止  ゲリッ! 器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	シャワースタンドの開口部へ直接湯水をかけないでください。 禁止 漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	めっき部品はぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。 禁止 めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。
	適量となるように止水栓を調節してください。 フラッシュ 流量が多いと、洗面ボウルから水があふれたり周囲に飛び散つたりするおそれがあります。	めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。 フラッシュ けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。	レバーハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。 ゆっくり 急に閉めると「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。